海洋環境の変化に対応した

藻場干潟対

### 漁港は魚の保育園

漁港

強靱化対策、原

長寿命化対

国展開を加速するための



(1)

漁港漁場月報のバックナンバーは 左のQRコードから読むことができます

## 漁港漁場月報

令和7年11月15日 発行 毎月 1回15日発行 毎月 1回15日発行 発行、公益社団法人 全国旗港漁場協会 中 中 郁 也 東京都千代田区神田最治町3-6-7 ウンビン神田ビル2階 電話 東京(6206)0066 ホームページ http://www.gyokou.or.jp/ 定価 1部 70円 (会員の職談料は 会費の中に含む)

# 全国から 1350人参集 、公社)全国漁港漁場協会は「第74回全国漁

漁業協同組合、山口県漁港漁場協会。協賛は(一 財)漁港漁場漁村総合研究所、(一社)水産十 名が集結した。後援は山口県、下関市、山口県 で10月15日開催し、全国から関係者約1350 港漁場大会」を山口県下関市の海峡メッセ下関 BOATRACE下関が特別協賛した。 木建設技術センター、全国漁港海岸防災協会。



うことが決議された。

県下関市で盛大に開催

### 官ら来賓から祝辞 山本農水大臣政務

枝元真徹大日本水産会会 長、坂本雅信全漁連会長、 進議員連盟幹事事務局 結した。 漁場整備長期計画の着実 長らが出席。令和8年度 島潔漁港漁場漁村整備促 農林水産大臣政務官、江 な実行に向けて、一致団 に最終年度を迎える漁港 来賓として山本佐知子 た。

進を図る必要がある。 関係諸施策の積極的な推 えた。漁港漁場整備長期 係者が参集して開催され 計画を着実に実行するた 回開催以来、74回目を迎 漁村の総合的整備を図る ており、昭和24年の第1 にめに全国の漁港漁場関 海岸整備の促進に係る 本大会は漁港・漁場・ 漁港・漁場・漁村 からの祝電紹介があっ臣、高市早苗自民党総裁 年度漁港・漁場・漁村・ った。付議議案「令和8 選出し、議案の審議に入 た。 海岸整備予算の確保に関 前田下関市長を議長に

全国から1350人の関係者が集まった

等に対する要請活動を行 実現に向けて政府、国会 漁場関係者の総意をもっ 全国の漁港 提案理由を説明した。 する件」について、島根 章市会長(浜田市長)が 県漁港漁場協会の久保田 続いて議案に関連した

挨拶する田中会長 来場者を魅了した。 を偲んで参拝する姿を再 う)道中」が披露され、 現した「上臈(じょうろ らも亡くなった安徳天皇 が遊女に身を落としなが ーでは、平家の女官たち オープニングセレモニ

漁場協会会長が挨拶し 中郁也(公社)全国漁港 長、主催者を代表して田 して前田晋太郎下関市 大会では開催地を代表

司会者より石破茂総理大述べた。議事に入る前に、 山口県知事が歓迎挨拶を 読。坂本全漁連会長、枝 鈴木俊一会長の祝辞を代 漁港議連幹事事務局長が 務官の祝辞に続き、江島 辞を述べた後、 元大日本水産会会長が祝 来賓の山本農水大臣政 村岡嗣政

満場

事例に―(川村結里子㈱ 事例発表が行われ、 結屋代表取締役) の発展に向けて(三木正 参事) O水産都市「下関 業協同組合長、田中正隆 内浦漁協直営いけすやを のすすめ―静岡県沼津市 長)〇関わりしろ型海業 之下関市農林水産振興部 石川県農林水産部水産課 ついて(中田亨石川県漁 におけるICTの活用に 川県沿岸域での漁場整備 3例が報告された。 一致で議案を

議決し、提言を採択

会の中津喜美子会長(山全国漁協女性部連絡協議 され、議長の指名により 議案は満場一致で採択

読。拍手により賛同、採取りまとめた提言を朗 | 択された。 この提言をも 場協会会長、 とに、全国漁港漁場協会 会長、各都道府県漁港漁 言で示された施策と必要 予算の確保の実現に努め

長)が議決された内容を

口県漁業協同組合女性部

提

言

は磯焼けが拡大し、赤潮の発生、栄養塩類の不足など沿岸の漁場環境は厳しさを増していま 生しており、自然災害の頻発、激甚化に危機感を覚えています。 す。また、毎年のように地震津波、台風、爆弾低気圧、豪雨などにより水産業への被害が発 変わり、サケ、スルメイカ等の主要魚種や地域漁業の重要種の不漁が続いています。藻場で 水産業は、海洋環境の大きな変化に直面しています。海水温の上昇などにより漁場形成が

とともに、南海トラフ、日本海溝・千島海溝の巨大地震等に備え、防災・減災対策の推進が 材、漁業資材、燃油、餌料等の価格高騰など、現場には多くの課題があります。 必要です。また、漁港施設等の老朽化の進行、泊地の埋塞など機能低下、越波被害、 すい就労環境や定住環境の確保、藻場・干潟の保全・造成、種苗の確保などに加え、 能登半島地震をはじめ被災した漁港・漁場・漁村では、道半ばの復旧復興を着実に進める 建設資

どを求めて漁港漁村を訪れる人は増えており、海業を全国的に展開し、魚食普及・消費拡大 の好機到来と言えます。 漁港周辺の水域を利用した新たな増養殖の取組が収入の安定につながっています。海の幸な しも見られます。漁港等での衛生管理や加工場整備が進み、水産物の輸出が進展しています。 このように水産業は厳しい状況にありますが、成長産業となる伸びしろがあり、明るい氷

えていくため、努力を積み重ねていきます。 安全・安心で良質な水産物を安定供給する役割を果たし、日本の豊かで優れた魚食文化を支 私たちは、水産業と漁村を持続可能なものとして次世代に継承し、将来にわたり、国民に

終年度を迎える漁港漁場整備長期計画の達成とともに左記の重要事項を強力に推進する必要とのため、私たちの生業の基盤である各地の漁港・漁場・漁村の諸課題に対応すべく、最 があり、漁港・漁場・漁村・海岸整備及び水産多面対策等関連対策の令和8年度予算の確保 を強く要請します

海洋環境の変化に対応した基盤整備、藻場干潟対策

全国展開を加速するための海業振興策の充実 漁港・漁村・海岸の強靱化対策、長寿命化対策 漁港の生産・流通機能の強化、養殖拠点整備

令和七年十月十五日

第七十四回全国漁港漁場大会

|政府及び各都道府県の地 い関係者に働きかけ、提元選出国会議員等の幅広 による提言書を作成し、 同組合連合会会長の連名 | ることを会場の賛同を得 | て決定し、議事を終了し トークショーやブー

ス展示、募金を実施

| ッセ下関の展示見本市会 | スペシャルトークショー 場でBS朝日のテレビ番 出の漁港と料理、そして ィレクターとぐっさん 組「魚が食べたい」のデ (山口智充氏) が「思い る漁船海難遺児育英会に ス展示、 漁場関係団体によるブー を実施。賛助会員や漁港 よる水色の羽根募金も行 恒例となってい

開会に先立ち、海峡メ一思い出の人」を振り返る、 われた。

当たり、一言お祝い申し上

定的な供給に欠かすことの

### 主催者 挨 拶 挨

# 全国漁港漁場協会

# 会長

### 田中 郁

の開催にあたり、主催者を 第74回全国漁港漁場大会 産政策推進本部長、古賀之 県知事、横山信一公明党水

代表してご挨拶申し上げま 士参議院議員をはじめ国会

局長、

地より1350名の方々に 参加をいただき、心より御 ご参加いただいています。 礼を申し上げます。全国各 などお忙しい中、本大会にご 本日は、漁業活動や公務 をはじめ水産関係団体の皆 会の皆様、林議長をはじめ 会副議長をはじめ山口県議 様、ご地元より、河野県議 枝元真徹大日本水産会会長 漁業協同組合連合会会長、 議員の皆様、坂本雅信全国

山本佐知子農林水産 の中、ご来賓として、 大臣政務官をはじめ 備促進議員連盟事務 島潔漁港漁場漁村整 政府関係の皆様、江 また、公務ご多忙 村岡嗣政山口 也 尽力をいただきました、山 関市での開催にあたり、ご た、海峡と歴史のまち となります。水産業が盛ん 年ぶりとなる地方での開催 市での第11回大会以来、3 皆様など、多くのご臨席を 協同組合、山口県漁港漁場 であり、様々な魅力に満ち 市町長をはじめ行政関係の 協会の皆様に厚く御礼を申 口県、下関市、山口県漁業 いただき、まことにありが とうございます。 本大会は、北海道・函館

とりまとめ、国会、政府等 回開催以来、今回で74回を 和24年、東京上野での第1 の声、漁業地域のニーズを 数えます。全国の漁業現場 全国漁港漁場大会は、 昭

し上げます。

下関市議会の皆様、沿海の や協議会を開催し、各地の の事例発表として各地の特 います。また、本日は3題 言」としてとりまとめを行 で、本日の大会において「提 の議論を重ねてきましたの 全国7ブロックで地区大会 を刻んできました。本年も 徴ある取組をご紹介いただ 課題や進めるべき施策など に届ける取組として、歴史

とを祈念しています。

する機会でもあります。本 おり、これらを皆様と共有 最新の技術情報を紹介して

す。新鮮な水産物、特色ある よって広がりを見せていま が、

国の支援策の充実等に

環境の大きな変化に直面し ています。主要魚種などの

きます。展示コーナーでは 全国各地で海業の取組み

我が国の水産業は、海洋

化への対応、国土強靭化・ る必要があります。 野において、しっかり進め 防災減災対策を水産業の分 じています。海洋環境の変 漁港施設等の機能低下が生 暮らしに被害をもたらし、 雨などは、水産業や地域の 震津波、台風、低気圧、豪 毎年のように発生する、地

日の大会が皆様にとって、 実り多いものとなりますこ の明るい兆しであります。 そして地域にとって、三方 加価値を生む余地はまだま 加工品、漁村の魅力は、付 よしの「海業」は、漁業地域 にとって、消費者にとって、 だあると思います。漁業者

って重要な藻場では磯焼け 不漁や沿岸の漁場環境にと これらの対策を進めてい

が拡大しています。また、 くためには、これから編成

は、どうぞよろしくお願い ある豊かな漁村を次の世代 ご挨拶といたします。 本日 いくことをお願い申し上げ、 団結のもと、活動を進めて の漁港漁場関係者の一層の 産業として発展し、活力の 努力により、水産業が成長 につないでいくため、全国

このため、本日とりまとめ される令和8年度予算にお 様のご協力をよろしくお願 活動を行います。関係の皆 る提言をもって、11月7日 の予算の確保が必要です。 海岸整備予算及び関連対策 いて、漁港・漁場・漁村・

### 農林水産大臣政務官 山本 佐知子

祝辞



全国から御参集い

名を超える皆様の御参集の 漁港漁場大会」が1300 本日ととに、「第74回全国 表する次第であります。

もと、盛大に開催されるに

農林水産業は、食料の安

皆様の御尽力に深く敬意を ていただいており、改めて、 中心的な役割を担っ

> その持てる力を最大限に引 地域に根差した産業として 用と所得を生み出しており、 き出していくことが重要で すとともに、農山漁村に雇 できない重要な役割を果た

格など物価の高騰、さらに ど、立ち向かうべき課題が 頻発化・激甚化しているな 台風、豪雨など自然災害の は能登半島地震をはじめ、 業就業者数の減少、燃油価 水産資源の変動や不漁、漁 ついては、海洋環境による 現在、我が国の水産業に

山積しております。 他方、インバウンドが増

動きも生じています。 業」の取組が各地で始まる 価値や魅力を生かした「海 景や歴史などの地域資源の 漁村における高い鮮度の水 加していることや、漁港・ など、明るい未来に繋がる 漁業体験、独自の風 対策等についても、しっか りと推進してまいります。 また、本年6月には、

こうした中、 水産業の基

さらに海業については、

生物にとって重要な産卵場 や育成場である藻場の保全 対応した漁場整備や、 て、魚種や分布域の変化に 等の海洋環境の変化に対し 画」に基づき、海水温上昇 盤となる漁港・漁場につい ては、「漁港漁場整備長期計 創造等を推進してまいり 水産 いります の全国展開を加速化してま 事業により海業の立ち上げ や本年度予算で認められた とともに、昨年度補正予算 漁港施設の利活用を進める への支援を行うなど、海業 漁港漁場整備法に基づき、 昨年4月に施行された改正

波・耐浪化対策や長寿命化 り、漁港における耐震・耐津 閣議決定されたところであ 土強靱化実施中期計画」が い申し上げます。 きますよう、よろしくお願 漁村の発展に御尽力いただ ます。引き続き、水産業・ 解と御協力が不可欠であり 組の実現には、皆様の御理 ありませんが、これらの取 改めて申し上げるまでも

益々の発展、並びに本日御 会の成功、我が国水産業の 会の益々の御発展と、本大 本日は誠におめでとうござ 言葉とさせていただきます。 念いたしまして、お祝いの 出席の皆様方の御健勝を祈 結びになりますが、貴協

業であります。

業は我が国にとって大変重要な産

いします。 に国会、政府への合同要請 結びに、私たちの取組と

を申し上げます。 議員連盟の会長として一言お祝い に当たり、漁港漁場漁村整備促進

いており衷心より敬意を表しま 業の振興と漁村の発展にご尽力頂 さて、我々は、漁港・漁場・漁

> 者が就労しやすい漁港・漁場・漁 の強化など、激甚化する自然災害 面の上昇などに耐え得る施設機能

への対応、高齢化が進む漁業従事

的として議員連盟を立ち上げ、そ ん。さらに、世界情勢に鑑みると、 化を実現させなければなりませ かし、水産業の安定的な成長産業 動とともに、インバウンドも着実 の趣旨に賛同する衆・参国会議員 食料の安全保障の観点からも水産 思後、活発さを取り戻した経済活 123名で活動をしております。 村社会の構築に寄与することを目 村の整備促進を通じて、豊かな漁 に増加しています。 この機会を生 新型コロナウイルス感染症の終

少・高齢化の進展、地球温暖化の 影響等による水産資源の変動、 しかしながら、漁業従事者の減 第74回全国漁港漁場大会の開催

のであり、今日的な状況変化に対 ・漁村づくりはその根幹をなすも 業を発展させるため、漁港・漁場

かり前に進めていく必要がありま 応し、時代が要請する整備をしっ

気候変動による風浪の増大、海

ご列席の皆様には、我が国水産

漁村のにぎわいの創出など必要な 併せて、磯焼け対策、海業による 諸施策についても総合的かつ迅速 村づくりを急がねばなりません。 に取り組んでまいりたいと考えま

す。議員連盟としましても、予算 画を着実に実行する必要がありま 年度を迎える漁港漁場整備長期計 諸施策が盛り込まれており、 提出されました。今般の予算要求 に令和8年度予算の概算要求書が には、地域にとって緊急性の高い 8月末に農林水産省から財務省 最終

祈念し、私の祝辞といたします たご列席の皆様のご健勝を心から 国の漁港・漁場・漁村の発展、ま 参る所存です。 獲得に向け、最大限の努力をして 結びに、本大会の成功と、我が

### 辞

# 漁港漁場漁村整備促進議員連盟

鈴木 俊 一会長

場漁村整備促進議員代読: 江島潔漁港漁 連盟幹事事務局長



くの課題を抱えています。

この様な状況の下、我が国水産

規模な地震・津波や高潮・高波に

よる脅威など、水産業・漁村は多

### 祝 辞

# 全国漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 坂本 雅信



22号・23号において りますが、先日の台風 しているところであ 的に自然災害が頻発 豪雨被害など、全国 はじめに、今夏の

その漁港は我々の生活拠点 るところです。 ますとともに、早期の生活 大きな被害をもたらしまし 超える漁港がありますが、 インフラの復旧を願ってい 様方にお見舞いを申し上げ た。被害に遭われました皆 日本には2、700をも は、八丈島を中心に

> ている関係者の皆様に対し 日々漁港を支えていただい 意を表します。 まして、改めまして深く敬 な役割を果たしております。 インフラとして非常に重要

も重要な課題であり、ご承 の激変」は我々にとって最 ます。なかでも、「海洋環境 るしく日々変化をしており 会・経済情勢は引き続き混 巻く状況についても目まぐ **純としており、漁業を取り** さて、国内外における社

ンとした、今年度から5か の激変に立ち向かうJF自 JFグループは「海洋環境 潟の減少は、年々顕著とな 知のとおり、前浜の魚種の 己改革の断行」をスローガ 類の生育に必要な藻場や干 変化や漁獲量の減少、魚介 このような状況に鑑み、

っているところです。

われているところです。 をかけた取組みが全国で行 年の新たな運動方針を策定 し、いままさに漁業の存続

革の実践に邁進して参りま 役職員は、引き続き自己改 役割発揮による漁村・漁業 盤の確立」、「浜での中核的 づき、全国の漁業者・漁協 経営改革の断行」、「組織基 への貢献」の3つの柱に基 「漁業者を支える事業・

ことであります。この使命 命は、国内外のみならず世 を果たし続けるためには、 な水産物を届け続けていく 界中の方々に、安全で安心 の生産基盤である「漁港・ 漁業を持続可能なものとし、 すが、その前提として、我々 ていくことが肝要でありま 漁業者の経営基盤を強化し そして、我々の最大の使

欠であります。

かつ着実な整備が実現され ましては、計画の必達に向 長期計画」の取組み4ケ年 るよう、引き続き全国の関 漁場・漁村や海岸の早急 れる提言を契機とし、漁港 かと存じます。本日付議さ け日々邁進されていること 目であり、皆様方におかれ

漁港漁場協会並びに本日お せていただきます 表明し、お祝いの言葉とさ 集まりの関係者の皆様とと ・漁村の発展のため、全国結びに、明日の漁業・漁港 していく所存であることを もに、漁港関連事業を推進

# 今年度は「漁港漁場整備

ものにしていくことが不可 漁場」の機能をより強固な

係者の皆様方の力を結集し て取組んで参りたいと存じ

全漁連の坂本でございま

言ご挨拶を申し上げます。 Fグループを代表して、一 ことを、深くお祝い申し上 集し、盛大に開催されます な下関の地で、多くの漁港 の開催にあたりまして、J 漁場関係者の皆様方を参 第74回全国漁港漁場大会 本年は、漁業が大変盛ん

時などには、地域の社会的 であるとともに、災害発生

般社団法人大日本水産会 会長 枝元

ます。 今回の大会は、3

り多数の関係の皆さ 臨席のもと、全国よ 生方、行政の皆様御 日はこの下関に、先

が集う「第74回全国漁港漁 場大会」の開催、誠におめ 全国の漁港・漁場関係者 す。 心よりお慶びを申し上げま んが集われる盛大なる開催、 昨今、我が国水産業を巡

でとうございます。

り被害に遭われた方々に、 起きた地震に伴う津波によ 心からお見舞いを申し上げ カムチャツカ半島東方沖で はじめに、7月のロシア 騰、人材不足、海洋環境の る状況は、燃油など各種資 主要魚種の不漁など、課題 変動による磯焼けの拡大、 機材や餌飼料、人件費の高

催となりますが、本 年振りに地方での開 性の確保にとって正念場で り、成長産業化や持続可能 縮小が懸念されています。 あります。 の復旧、復興は道半ばであ さらに、能登半島地震から よる労働力の不足や経済の 地方においては人口減少に が山積しております。 特に、

よるインバウンド需要が大 るとはいえ、日本人はお魚 中で、適切な資源管理や輸 でにない海洋環境の激変の 要も拡大する中、外国人に す。また、世界の水産物需 が大好きであり、我が国に 幅に伸びています。これま 根付いている強みがありま は各地に多様な魚食文化が 他方、消費が減少してい

域に根差した強い水産業を

ているところであり、この 盤整備・強靭化、豊かな漁 ため、拠点となる漁港の基 を取り戻すことが期待され ざるものであります。 場の再生は必要欠くべから 実現することで地域の活力 大日本水産会としまして

りません。 に取組んで行かなければな 展、生産基盤の維持・強化 と一丸となり、水産業の発 協会はじめ、関係者の方々 水産業界の川上から川中そ 定供給」を果たし食料安全 して川下及び全国漁港漁場 保障に寄与していくため、

ましては、今大会で提言さ 場の関係の皆さんにおかれ 本日お集まりの漁港・漁

も、業界最大の使命である 「国民に対する水産物の安 化対策、長寿命化対策」そ 力を頂きたいと、念願いた の維持・発展」のためご尽 向け、また「水産業と漁村 え、業界の諸課題の解決に を進めて頂き、共に手を携 ための海業推進政策の充実\_ 機能の強化、養殖拠点整備」、 対策」、「漁港の生産・流通 応した基盤整備、 れる「海洋環境の変化に対 して「全国展開を加速する 「漁港・漁村・海岸の強靭

会に当たっての、お祝いの 港・漁場関係の皆様のご発 展を心より祈念し、全国大 ご挨拶とさせて頂きます。 結びにあたり、全国の漁

# 歓迎挨拶

山口県知事

村岡

嗣政

中東部海域には数多

くの島々が点在する

ため、マダイ、タコ、

ナマコ等の魚介類の

好漁場となっていま



国各地からお集まりいただき、 年ぶりの開催となる山口県に全 すとともに、平成4年以来、33 れますことをお喜び申し上げま 場大会が下関市において開催さ 心から歓迎いたします。 このたび、第74回全国漁港漁

準備されてきた多くの関係者の また、本大会の開催に向けて

型機船底引き網漁業が盛んで、 メ、カレイ類等を対象とする小 万、瀬戸内海側は、ハモやヒラ

南は瀬戸内海と三方を海に開か 皆様に厚く御礼申し上げます。 漁港を有する水産県です。 岸線 (1、503㎞) と93もの れて、全国でも6番目に長い海 置し、北は日本海、西は響灘、 山口県は、本州の最西端に位

サバ等回遊魚類を対象とするま き網・敷網漁業等が営まれ、一 日本海側では、イワシ、アジ、

す次第であります。

の基地として栄え、

つて遠洋・沖合漁業

ある下関市には、か

本大会の開催地で

ます。 ります。南風泊(はえどまり) して、重要な役割を果たしてい り、水産物の生産・流通拠点と 全国一となっているほか、本港 地区では、「ふく」の取扱量が 衛生管理市場が整備されてお 特定第3種漁港、下関漁港があ 岸漁業の基地である、県管理の 現在は沖合底びき網漁業及び沿 地区では、水揚量日本一を誇る 「あんこう」などを取扱う高度

います。 取り巻く環境は、海洋環境の変 の上昇など多くの課題を抱えて 情勢の変化等に伴う生産コスト の減少・高齢化、さらには国際 化による漁獲量の減少や担い手 また一方で、本県の水産業を

切に対応するため、中核経営体 の経営基盤の強化や、デジタル 本県では、こうした課題に適

> を支える基盤整備などを推進 強い水産業の確立を目指してい し、生産性と持続性を両立した 低減に資する取組、生産や地域 技術の開発・導入、環境負荷の

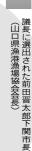
ズ)」として、サバ、ウマヅラ で育成した「やまぐちほろ酔い んでおり、県名産の地酒の酒粕 養殖ブランドの振興にも取り組 ド化を進めています。 ハギ、アユ、トラフグのブラン 酒粕養殖魚(ほろ酔いシリー また、「山口県ならでは」の

とろです。 策などを計画的に進めていると さばき所の整備や漁港施設の機 化などに積極的に取り組むこと としており、高度衛生管理型荷 源の回復、防災・減災機能の強 岸保全施設の整備による高潮対 とした漁場整備や藻場造成、海 能保全対策、キジハタ等を対象 ては、水産基盤の整備や水産資 さらに、漁港漁場整備におい

おります。 り発展していくことを期待して 誠に意義深いことであり、これ を契機として本県の水産業がよ て本大会が開催されますことは このような中、山口県におい

御健勝と御活躍を祈念いたしま 社団法人全国漁港漁場協会のま して、お祝いの言葉といたしま すますの御発展、並びに皆様の 結びに、本大会の成功と公益

議長選出





提言朗読

連絡協議会の中津喜美子会長提言を朗読する全国漁協女性部 (山口県漁業協同組合女性部長)



### 提案理由説明

### 島根県漁港漁場協会 久保田章市 会長

仲間とともに支援していく決意を表する 復興までの、さらに長い道のりを全国の 知しておりますが、能登の美しい漁村の 申し上げるとともに、復旧は道半ばと承 島地震により被災した皆様にお見舞いを す、浜田市長の久保田章市でございます。 県漁港漁場協会の会長を務めておりま はじめに、昨年一月に発生した能登半 ただいま、ご紹介を頂きました、島根

め、ご参集の皆様におかれましては、常 と感謝の意を表する次第であります。 化にご尽力頂いている事に、心より敬意 日頃から水産業の振興と漁業地域の活性 さて、本大会での提案理由の説明に先 また、本日ご出席のご来賓の方々を始

立ち、島根県と浜田市の水産業の現状に

次第でございます。

対馬暖流が流れ、隠岐諸島や九州から続 海が広がっております。 若干触れたいと存じます。 く陸棚、1000㎞を超える海岸線を有 し、多種多様な魚介類が生息する豊穣の 島根県の沖合には、黒潮から分かれた

漁業が営まれております。 の石見地域では底びき網漁業などの沖合 古くから隠岐地域のまき網漁業や県西部 そうした資源に恵まれた海を生かし、

根半島に代表されるリアス式海岸の地形 採介藻漁業などが営まれており、県全体 を利用した定置網漁業や一本釣り漁業、 さらに沿岸域においては、県東部の島

漁業、まき網漁業を中心に様々な漁業が 生産・流通の拠点を担っています。 があります。浜田漁港では沖合底びき網 位置し、特定第三種漁港である浜田漁港 市は島根県西部、石見地方のほぼ中央に 豊富な魚介類を水揚げし、島根県の漁業 次に浜田市の漁業についてですが、本

けすることができるようになりました。 全な浜田漁港の魚を全国の消費者にお届 き網用の4号荷捌き所が完成し、安心安 荷捌き所が完成、2023年に沖合底び 備を行い、2020年にまき網用の7号 主体として高度衛生管理型荷捌き所の整 これまで浜田漁港では、浜田市が整備

業者の誘致活動に力を入れてまいりまし 地元漁船の維持・存続対策、県外水産事 市としても水揚げの確保・増大のため、 伴い水揚量も減少傾向にあることから、 その一方で、沖合漁業経営体の減少に

し、新船の建造・経営継続に道を開きま いて、国や県とともに市も重点的に支援 を漁獲する沖合底びき網漁業2船団につ ロやカレイ、アンコウなどの豊富な魚種 特に地元漁船の存続対策では、ノドグ

県外事業者の誘致活動については、浜

演 擅

数の漁獲量となっております。 は、マアジやカレイ類、アナゴは全国有 の令和6年の漁業生産は、10万1千トン 187億円となっており、 特に魚種別で

される状況であり、磯焼(いそや)けが も対応が急がれる状況となっています。 影響が危惧され、藻場の整備・再生など 散見されアワビやサザエなどの資源への など海洋環境の変化は漁場に影響が懸念 海そのものに目を向けても、水温上昇

明いたします。 保に関する件」について、提案理由を説 どを踏まえまして、付議議案「令和8年 度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確 以上、「島根県及び浜田市」の状況な

岸では磯焼けが拡大し、赤潮の発生、栄 り水産業への被害が発生しており、自然 しています。また、毎年のように地震・ えてきた魚種の不漁が続いています。沿 津波、台風、爆弾低気圧、豪雨などによ 養塩類の不足など漁場環境は厳しさを増 の大きな変化に直面し、各地で地域を支 今、水産業は、水温上昇など海洋環境

進出が決定し、2027年度中の工場稼 働に向け準備を進めています 田漁港の背後地に大手水産加工事業者の

るところです。 ベントなど「海業」推進に取り組んでい 季のお魚」などのブランド化と2021 レイの「どんちっち三魚」や「浜田港四 だお魚市場」)を拠点とした魚食普及イ た「山陰浜田港公設市場」(愛称「はま 年に市営としてリニューアルオープンし さらに、当市ではアジ、ノドグロ、カ

を支える冷蔵庫など、浜田漁港の流通関 施設の増設や更新が求められているとこ り脆弱であり、他の拠点漁港と比較して も能力が不足していることから、大幅な 連施設は老朽化による稼働停止などによ しかしながら、こうした漁業生産活動

れるなか、防災・減災対策、施設の長寿 害の頻発、大規模な地震・津波が懸念さ り、近年の豪雨や台風などによる自然災 連施設は老朽化した施設が多く、生産活 命化を進めることが急務となっていま 動に支障を来たしていることはもとよ また島根県全体を見渡しても、 漁港関

であります。 令和七年十月十五日 くため、ここに強く要望し提案するもの 水産物を安定供給する役割を果たしてい する責任と、国民に安全・安心で良質な 国

記

深場 干 混 対策 一、海洋環境の変化に対応した基盤整備

拠点整備 一、漁港の生産・流通機能の強化、養殖

寿命化対策 一、全国展開を加速するための海業振興 一、漁港・漁村・海岸の強靱化対策、 長

村を持続可能なものとして次世代に継承 は承知していますが、我々が水産業と漁 策の充実 地方とも厳しい財政状況のなかと

第七十四回全国漁港漁場大会

ます。 災害の頻発、激甚化に危機感を覚えてい

価格高騰など多くの課題があります。 低下などに加え、資材や燃油、餌料等の 等の老朽化の進行、泊地の埋塞など機能 さらに、防波堤や岸壁など、漁港施設

開し、魚食普及・消費拡大の好機到来と す。漁港周辺の水域を利用した新たな増 備が進み、水産物の輸出が進展していま ますが、漁港等での衛生管理や加工場整 言えます。 村を訪れる消費者の増加など明るい兆し も見られます。 今こそ海業を積極的に展 養殖の取組、海の幸などを求めて漁港漁 このように水産業は厳しい状況にあり

必要があります。 題に対応すべく、長期計画の達成ととも 長期計画の最終年に当たり、水産業の基 に、次の重要事項の推進を強力に進める 盤である各地の漁港・漁場・漁村の諸課 このため、令和8年度は漁港漁場整備

### 夢と活力のある漁港漁村を次世代へつなぐ

報告

石川県漁港漁場協会

石川県沿岸域での漁場整備に おけるICTの活用について



発表 者

石川県漁業協同組合 代表理事組合長 中田亨

石川県農林水産部水産課 漁港漁村整備室 課参事

田中 正隆

第74回全国漁港漁場大会では、付議議案「令和8年 度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」に 関連し、意欲的な取り組みの現地報告として3件の事 例発表が行われた。

事例 報告

山口県下関市

表



下関市農林水産振興部 三木 正之

産 産都市「下関」の けのて

事例 報告

静岡県 内浦漁協

表



関わりしろ型海業のすすめ 静岡県沼津市内浦漁協直営 いけすやを事例に-

川村 結里子 株式会社結屋 代表取締役



漁船海難遺児育 英会が募金活動

の募金活動が恒例となっている。 が大会会場において募金活動を行った。多くの大 今大会においても(公財)漁船海難遺児育英会

多くの大会参加者が募金した。



長(山口県漁港漁場協会副会長)閉会挨拶を述べる池田豊防府市

閉会の

辞

歓迎レセプション







### 出席された政党 (国会議員等)

第854号

| 役 職                               | 氏 名    |
|-----------------------------------|--------|
| 漁港漁場漁村整備促進議員連盟幹事事務局長 参議院議員(自由民主党) | 江島 潔   |
| 参議院議員 (公明党水産政策推進本部長)              | 横山 信一  |
| 参議院議員 (立憲民主党)                     | 古賀 之士  |
| 山口県議会議員(日本共産党代表代理)                | 木佐木 大助 |

### 代理の方が出席された国会議員

|       |    | 役職            |    | 氏 名 |
|-------|----|---------------|----|-----|
| 衆議院議員 | 林  | 芳正 (自由民主党) 秘書 | 和田 | 和夫  |
| 衆議院議員 | 高村 | 正弘(自由民主党)秘書   | 津室 | 智山  |
| 衆議院議員 | 吉田 | 真次(自由民主党)秘書   | 藤井 | 克彦  |
| 衆議院議員 | 平林 | 晃(公明党)秘書      | 西岡 | 稔   |

### 出席された来賓(行政機関・関係団体等)

| 役 職                     | 氏 名    |
|-------------------------|--------|
| 農林水産大臣政務官 参議院議員         | 山本 佐知子 |
| 水産庁漁港漁場整備部長             | 中村 隆   |
| 水産庁漁港漁場整備部計画 • 海業政策課長補佐 | 中西 豪   |
| 水産庁漁港漁場整備部計画 • 海業政策課長補佐 | 塚本 邦芳  |
| 全国漁業協同組合連合会代表理事会長       | 坂本 雅信  |
| (一社) 大日本水産会会長           | 枝元 真徹  |
| 全国漁青連会長理事               | 阿部 誠二  |
| 全国漁協女性部連絡協議会会長理事        | 中津 喜美子 |
| 全国漁港海岸防災協会 会長           | 衛藤 征士郎 |
| (一財)漁港漁場漁村総合研究所理事長      | 浅川 典敬  |
| (一社)水産土木建設技術センター理事長     | 吉塚 靖浩  |
| (一社)漁港漁場新技術研究会会長        | 橋本 牧   |
| (一社)全日本漁港建設協会会長         | 岡 貞行   |
| (公社)全国豊かな海づくり推進協会専務理事   | 熊谷 徹   |

### 第74回全国漁港漁場大会に祝電・メッセージを下さった方々

| 役 職                   |       | 氏 名    |
|-----------------------|-------|--------|
| 内閣総理大臣                | 衆議院議員 | 石破 茂   |
| 自由民主党 総裁              | 衆議院議員 | 高市 早苗  |
| 衆議院農林水産委員長            | 衆議院議員 | 御法川 信英 |
| 参議院農林水産委員長            | 参議院議員 | 舞立 昇治  |
| 内閣官房長官                | 衆議院議員 | 林 芳正   |
| 経済再生担当大臣              | 衆議院議員 | 赤澤 亮正  |
| 国土交通副大臣               | 衆議院議員 | 古川 康   |
| 法務副大臣                 | 衆議院議員 | 高村 正大  |
| 厚生労働大臣政務官             | 衆議院議員 | 吉田 真次  |
| 自民党漁港漁場漁村整備促進議員連盟 副会長 | 衆議院議員 | 金子 恭之  |
| 自由民主党広報本部長            | 衆議院議員 | 鈴木 貴子  |
|                       | 衆議院議員 | 山口 俊一  |
|                       | 衆議院議員 | 松本 剛明  |
|                       | 衆議院議員 | 西村 康稔  |
|                       | 衆議院議員 | 牧島 かれん |
| 公明党山口県本部顧問            | 衆議院議員 | 平林 晃   |
|                       | 参議院議員 | 鈴木 宗男  |
|                       | 参議院議員 | 桜井 充   |
|                       | 参議院議員 | 野村 哲郎  |
|                       | 参議院議員 | 石井 準一  |
|                       | 参議院議員 | 中西 祐介  |
|                       | 参議院議員 | 江島 潔   |
|                       | 参議院議員 | 進藤 金日子 |
|                       | 参議院議員 | 小林 一大  |
|                       | •     | -      |
| 全国離島振興協議会             | 会長    | 荒木 耕治  |

### ※ 役職は10月15日当時のもの







萩漁港(上)と、仙崎漁港(下)を視察し、 それぞれ職員から説明を受けた

| 全国漁港渡            | は場大会 山口県・下関市 | 来賽一覧   |
|------------------|--------------|--------|
| 【山口県議会】          | 副議長          | 河野 亨   |
| 【山口県議会(農林水産委員会)】 | 農林水産委員長      | 山手 康弘  |
|                  | 農林水産副委員長     | 笹村 直也  |
|                  |              | 江本 郁夫  |
|                  |              | 西本 健治郎 |
|                  |              | 吉田 充宏  |
|                  |              | 塩満 久雄  |
|                  |              | 高瀬 利也  |
|                  |              | 林 直人   |
|                  |              | 平岡 望   |
|                  |              | 前東 直樹  |
|                  |              |        |
| 【県内市町長】          | 宇部市長         | 篠崎 圭二  |
|                  | 山口市副市長       | 田中 和人  |
|                  | 防府市長         | 池田 豊   |
|                  | 下松市長         | 國井 益雄  |
|                  | 光市長          | 芳岡 統   |
|                  | 長門市副市長       | 大谷 恒雄  |
|                  | 周南市副市長       | 道源 敏治  |
|                  | 上関町長         | 西 哲夫   |
|                  | 阿武町長         | 花田 憲彦  |
|                  | •            |        |
| 【山口県】            | 山口県知事        | 村岡 嗣政  |
|                  | 山口県農林水産部長    | 岡本 章生  |
|                  | 山口県農林水産部理事   | 中村 圭吾  |
|                  | 山口県下関水産振興局長  | 野村 太郎  |
|                  |              |        |
| 【山口県漁港漁場協会】      | 副会長          | 森友 信   |
|                  | 理事           | 小田 貞利  |
|                  | 理事           | 田辺 寿之  |
|                  | 理事           | 長岡 利憲  |
|                  | 監事           | 吉田 和人  |
|                  | 理事           | 中津 喜美子 |
|                  | 理事           | 入江 佳江  |
|                  |              |        |
| 【下関市】            | 市長           | 前田 晋太郎 |
|                  | 副市長          | 大井 裕子  |
|                  | 農林水産振興部長     | 三木 正之  |
|                  |              |        |
| 【下関市議会】          | 議長           | 林 真一郎  |
| 【下関市議会(経済委員会)】   | 委員長          | 坂本 晴美  |
|                  | 副委員長         | 山野 陽生  |
|                  | (50音順        |        |
|                  |              | 江村 卓三  |
|                  |              | 竹村 克司  |
|                  |              | 東城 しのぶ |
|                  |              | 戸澤 昭夫  |
|                  |              | 濵岡 歳生  |
|                  |              |        |
| 【下関市水産関係議員連盟】    |              |        |

### 【下関市水産関係議員建盟】 "「下関ふく」を世界一に"下関市議会議員連盟 会長

| 【下関市水産関係等団体】     |         |     |        |
|------------------|---------|-----|--------|
| (一社)下関ふく連盟       | 理事長     | 郷田  | 祐一郎    |
| (一社)下関水産振興協会     | 会長      | 波田  | 慎治     |
| 山口県以東機船底曳網漁業協同組合 | 代表理事組合長 | 宮本  | 洋平     |
| 11               |         | Tr' | 44 (4) |

| ( 江/ 1 対心・( 建皿    | 生学及      | Min in Mi |
|-------------------|----------|-----------|
| (一社)下関水産振興協会      | 会長       | 波田 慎治     |
| 山口県以東機船底曳網漁業協同組合  | 代表理事組合長  | 宮本 洋平     |
| 共同船舶株式会社          | 代表取締役社長  | 所 英樹      |
| 共同船舶株式会社          | 常務取締役    | 稲 芳久      |
| 下関水産物卸協同組合        | 理事長      | 山口 栄二     |
| 下関唐戸魚市場仲卸協同組合     | 理事長      | 酒井 一      |
| 下関商工会議所           | 会頭代理 副会頭 | 中村 高志     |
| (一社)下関観光コンベンション協会 | 会長       | 冨永 洋一     |

### 【下関市漁業協同組合等】

| 1 下 医 中 点 未 励 円 和 | 1口寸】     |         |    |    |
|-------------------|----------|---------|----|----|
| 山口県漁業協同組合         | 下関外海統括支店 | 運営委員長   | 廣田 | 弘光 |
| 山口県漁業協同組合         | 本山以西統括支店 | 運営委員長   | 今井 | E  |
| 山口県漁業協同組合         | 豊浦統括支店   | 運営委員長   | 西島 | 正明 |
| 角島漁業協同組合          |          | 代表理事組合長 | 阪井 | 章二 |

### 展示・物販

| 出展社名                              |
|-----------------------------------|
| (一財) 漁港漁場漁村総合研究所                  |
| (一社) 全日本漁港建設協会                    |
| (一社) 水産土木建設技術センター                 |
| 官民連携海業振興ポータルサイト                   |
| 漁港プレキャスト工法研究会                     |
| (株)エスイー                           |
| (一社) 漁港漁場新技術研究会 異形ブロック専門部会/施工専門部会 |
| 東洋建設(株)                           |
| 海洋土木(株)                           |
| 環境維持保全工法研究会                       |
| (株)安部日鋼工業                         |
| 青木あすなろ建設(株)                       |
| 関門港湾建設(株)                         |
| 日本防蝕工業(株)                         |
| (株)ナカボーテック                        |
| 海洋建設(株) 水産環境研究所                   |
| 日本リーフ(株)                          |
| アトミクス(株)                          |
| (国研) 水産研究・教育機構 水産大学校              |
| (一社) 漁港漁場新技術研究会 (株)チスイ            |
| 共同船舶(株)                           |
| (株) クボタケミックス                      |
| 日之出水道機器(株)                        |

|      | 物販ゾーン                |
|------|----------------------|
| 阿武町  | 道の駅 阿武町:(株)あぶクリエイション |
| 下松市  | 下松商工会議所              |
| 長門市  | ながと物産合同会社            |
| (一社) | 下関ふく連盟 (株)藤フーズ       |
|      | (株)山賀                |
|      | (株)ふくの里              |
| 山口県漁 | 業協同組合                |
| 下関観光 | コンペティション協会 ふくの関      |

# 展示や 物販も 充実





企業や関係団体によるパネル展示 (上)と山口県産品の販売(下)も行わ

特選 1席

農林水產大臣賞









報



(公社) 全国漁港漁場協会と全国漁港海岸防災協会の共催、(一財) 漁港漁場 漁村総合研究所と(一社)水産土木建設技術センター、(一社)全日本漁港建設 協会の協賛、水産庁後援による2025漁港漁場漁村海岸写真コンクールの入賞作 品が、第74回全国漁港漁場大会の場で発表された。

同コンクールの作品審査は9月5日に行われ、入賞作品は、パンフレットに まとめられて大会参加者に配布された。

入賞作品は、特選1席(農林水産大臣賞)1点、特選2席(水産庁長官賞) 1点、特選3席(全国漁港漁場協会長賞、全国漁港海岸防災協会長賞、漁港漁 場漁村総合研究所理事長賞、水産土木建設技術センター理事長賞、全日本漁港 建設協会長賞) 各1点、入選6点、佳作12点で、入賞者は別表の通り。

なお、入賞作品は全国漁港漁場協会のホームページに掲載しています。

特選 2席

水產庁長官賞



特選3席

全国漁港漁場協会長賞







特選3席

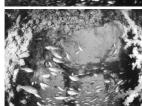
漁港漁場漁村総合 研究所理事長賞



水産土木建設技術 センター理事長賞









全日本漁港建設協会長賞



### 2025漁港漁場漁村海岸写真コンクール入賞者一覧

|   | λ | 賞 |   |                      | 題名         | 氏 名      |
|---|---|---|---|----------------------|------------|----------|
| # | 遵 | 1 | 席 | 農林水産大臣賞              | 干しダコの季節    | 明野 敏行    |
| # | 羞 | 2 | 席 | 水産庁長官賞               | 海の男達の祭り    | 渡邊 俊幸    |
| # | 羞 | 3 | 席 | (公社)全国海港漁場協会長賞       | 松川浦漁港夕照    | 佐藤 優子    |
| # | 選 | 3 | 席 | 全国渔港海岸防災協会長賞         | それぞれの元日    | 山台 雄三    |
| # | 羞 | 3 | 席 | (一財)漁港漁場漁村総合研究所理事長賞  | 祭りの主役たち    | 川崎 信義    |
| # | 選 | 3 | 席 | (一社)水産土木建設技術センター理事長賞 | 漁礁ブロック     | 谷口 常雄    |
| * | 羞 | 3 | 席 | (一社)全日本漁港建設協会長賞      | 「流氷の流入」    | 阿部 浩     |
| λ |   |   | 温 |                      | 大漁の瞬間      | 山根 淳市    |
| λ |   |   | 温 |                      | 大漁の兆し      | 能任 栄一郎   |
| λ |   |   | 2 |                      | 漢の銛突き      | 黒木 和隆    |
| λ |   |   | 温 |                      | 兆し         | 指田 丈二    |
| λ |   |   | 温 |                      | ほほえむ海女     | 井上 悟     |
| λ |   |   | Z |                      | 北の漁場       | 中川 富夫    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 訪れたい漁港     | 西片 正勝    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 飾り船進水      | 伊藤 良一    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 最果ての漁港     | 中村 和貴    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 稚貝分散       | カマタニ ヒサト |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 海はボクの公園    | 高津 弘人    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 漁火         | 杉浦 正幸    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 筏漁場        | 篠田 光雄    |
| 佳 |   |   | 作 |                      | 桜えびの天日干し   | 岩瀬 悦夫    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 海苔の干出      | 糸賀 一典    |
| 佳 |   |   | 作 |                      | 夜明けの親子     | 土屋 恵理    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 輝く風とひかりの中で | 小椋 利昭    |
| 隹 |   |   | 作 |                      | 夏の瀬戸内      | 若松 陽子    |
|   |   |   |   |                      |            |          |

港漁場整備部長が挨拶し 出席した中村隆水産庁漁 先立ち田中郁也会長が挨 事会を開催した。議事に いて令和7年度第3回理

拶したのち、来賓として

催された漁港漁場大会や

より、今年度各地区で開 の件について」、事務局

た議題を課題毎に整理

し、水産庁の令和8年度 地区協議会から提案され

概算要求内容等を踏まえ

立していること及び監事 定足数を満たしており成

| 案のとおりに承認され て大会付議議案が作成さ

一による説明と鹿児島県漁一 の件」について、事務局

漁港漁場大会開催地決定

つづいて 第76回全国

た。

挨拶があっ

れたことが説明され、原

# 漁港大会提言の実現へ要請



農林水産省(上)と財務省(下)への要望 の様子 備の早急で着実 漁村や海岸整

中村元太国土政 国土交通省では 予算確保を求め な実施に向けて 小林侑剛主査、 **^賢章主計官、** 財務省では宮

の各ブロック協議会幹事 協会を中心に各省庁へ要 図ることを決議。今年度 提言事項の実現を の通り。 課長補佐に面会し提言の 実現を訴えた。 合同要請の参加者は次 策局離島振興課

元選出国会議員等に働き|備部長ら水産庁幹部に面|<茨城県漁港協会>豊田 港漁場協会理事、網走漁 長)、加藤健司専務理事、 業協同組合代表理事組合 幸会長(全国漁港漁場協 道漁港漁場協会〉髙橋昌 新谷哲也副会長(全国漁 会副会長、神恵内村長)、 [農林水産省] <北海 産課長)、事務局

漁 港 漁 場 月 報

組合連合会会長の連名で

じめ、中村隆漁港漁場整

介農林水産大臣政務官は

農林水産省では山本啓

協会会長、全国漁業協同

して全国漁港漁場協会会

て要請する「個別要請」

地元選出国会議員に対し 都道府県漁港漁場協会が 請を行う「合同要請」と、

第76回全国漁港漁場大会は鹿児島

全国漁港漁場協会第3回理事会を開催

務局長(熊本県農林水産 奈木町長)、植田光和事 <熊本県漁港漁場協会> 長)、山田豊隆副会長(津 漁場協会理事、上天草市 堀江隆臣会長(全国漁港 事)、高濱芳明専務理事 課課長補佐)、中村丈夫 城県農林水産部水産振興 事(茨城県農林水産部水 小林敏明(北茨城市農林 稳会長 (北茨城市長)、 (茨城県栽培協会専務理

会。提言を手渡

事(岡山県農林水産部水 湾漁港協会>石飛博敏理 平山彩夏主事へ岡山県港 漁場協会理事、(風間浦 岡宏代表理事(全国漁港 青森県漁港漁場協会>冨 港漁場協会>田中郁也会 [財務省]へ(一社) 吉竹正明総務部長

漁場協会>奥間守副会長 剛へ(一社)沖縄県漁港 正博常務理事、森健二業 全国漁港漁場協会>森田 **圏営業課主査)、書記** 圈営業課長)、渡慶次功 漁港漁場課長)、内間亨 顧問(沖縄県農林水産部 協同組合長)、兼次孝影 明監事(浦添宜野湾漁業 上里ひかり、<(公社) (沖縄県東京事務所首都 (沖縄県東京事務所首都 (伊是名村長)、中西聡

社)全国漁港漁場協会> [国土交通省] <(公

部漁港漁場整備課長)、

本県漁港漁場整備課審議 員)、 < (公社)全国漁 上妻嘉昭事務局次長(熊 森健二業務部長 第23回 全国戀嬌技術研究発表会開催

関する件」が採択された。

海岸整備予算の確保に これを同大会の提言と

8年度漁港・漁場・漁村 国漁港漁場大会で「令和 市で開催された第74回全

10月15日に山口県下関

技術研究発表会の様子

歓迎する旨の 児島県来訪を ら、当該大会 会長理事か 開催による鹿 どおり承認さ **無港漁場協会 你健鹿児島県** その後、川 日間にわたり開催され 他で10月23日、24日の2 る2・7(かでるホール)」 が、北海道札幌市「かで 社) 全国漁港漁場協会) 整備技術研究発表会」(主 第23回全国漁港漁場 し、

理事会の様子

れた。

があり、原案

よる補足説明 **港漁場協会** 

い研究成果や

ているかと思うが、全国

の海峡メッセ下関貿易ビ

ル棟1(階国際会議場にお

港漁場大会付議議案承認

まず、「第74回全国漁

時45分から山口県下関市

協会は、10月15日午前11

(公社)全国漁港漁場

2名が出席している旨が

報告された後、議事に入

|報告」が行われた。 職務執行状況についての 「令和7年度(上半期) また、報告事項として、 整備に関する技術を加 たが、平成14年から漁場 会」として46回開催され 国漁港建設技術研究発表

全国豊かな海づくり大会 三重県で開催

会、第4回全国豊かな海

第4回全国豊かな海づ 員会)が天皇、皇后両陛

くり大会(主催:豊かな | 下ご臨席のもと、三重県 れた。 で11月8~9日に開催さ

づくり大会三重県実行委

|の水産物供給基地だが、| ただくとともに、都道府

島地震災害復旧直轄代行

職による報告が行われ チーム長谷川匠整備専門 漁場整備部事業課能登半 題―と題して水産庁漁港

の実現に向けた施設整備

陸揚げ岸壁、港内静穏の ースでバス2台により、

Bコースは登別漁港プ

ための防波堤整備を視

港における高度衛生管理 のテーマでは、⑤長崎漁

流通拠点漁港機能強化

対策を視察、

74名が参加

テーマは「受け継ごう一環境保全や水産資源の適一激な海洋環境の変化に柔 催された式典行事で挨拶 された天皇陛下は、海の 志摩市阿児アリーナで開

命あふれる清い海」。 全漁連会長)が「私たち 水産関係者は、近年の急

一セエビとマダイの種苗を

の栽培漁業を代表するイ で手を振られた後、同県 海上歓迎パレードに笑顔 后両陛下は漁船等による 流行事を実施。天皇、皇 田曽漁港で海上歓迎・放 場の拍手で採択された。 た大会決議を提案し、満 取り組みをより一層力強 の持続的な発展に向けた 務がある。水産業・漁村 の供給を果たしていく責 の安心・安全な水産食料 な海を守り育て、国民へ

式典の様子(上)と種苗を放流される 会推進委員会会長(JF 事)が挨拶。坂本雅信大 天皇皇后両陛下(JF と一見勝之実行員 う」と期待を述べ かな海づくりの輪 触れた上で、「豊 会会長(三重県知 会長(衆院議長) 広がることを願 が三重県から全国 へ、未来へ大きく て額賀福志郎大会 主催者を代表し

く進めていく」などとし

その後、南伊勢町の宿

開催されている。三重県 目的として、毎年各地で 推進を通じて、水産業の 民に広く訴えるととも の環境保全の大切さを国

振興と発展を図ることを

会が開催され、今回で2 では昭和59年に第4回大

回目の開催となった。

来年は大阪府で開催さ

切な管理について | 軟に対応しながら、豊か

るため、水産資源の保護

い水産食料を食卓に届け

同大会は安全で美味し

・管理と海や湖沼・河川

登別漁港での現場研修の様子

算69回目とな 改められ、本年 会として名称も 全国の漁港漁場 31年からでは通 整備にかかる新 に取り扱う発表 同発表会は、 害への対応も大きな課題 イカといった様々な魚種 きく変化する中、その対 となっている。皆さまの 応に大変なご苦労をされ ンブなどの藻場の衰退 の生産が低迷する中、コ 近年、海洋環境の変化な 同様に取り巻く環境が大 や、近年頻発する自然災 どにより、サケやスルメ 地域におかれましても、 | ろである」と挨拶した。 大いに期待しているとこ 用した増養殖についてと り多い機会となることを 県間のより一層の連携も 図っていただくなど、実

その後、漁港水面を活

引き続き、テーマごと

流通拠点漁港を目指して

と未来戦略―持続可能な

催:水産庁、北海道、(公 | ており、 今年度は全国の 港漁場整備部長、田中郁 60名が参加した。 一の向上、普及を目的とし 漁港漁場関係技術者約2 也(公社)全国漁港漁場 際し、水産庁の中村隆漁 1日目の発表会開催に 漁港漁場整備の<br />
技術 先進事例を紹介 ある。こうした中、本日 の持続的な発展に欠かせ の整備は、我が国水産業 生産基地となる漁港や、 殖』についての基調講演 港水面を活用した増養 の研究発表会では、『漁 的なこうした状況の中、 や、ICT技術、ブルー ない極めて重要な対策で 漁業生産の場となる漁場

年から平成13年まで「全 この発表会は、昭和31 場に恵まれた我が国有数 ク海に囲まれ、豊かな漁 部長は、一北海道は、日 者挨拶が行われた。岡嶋 道水産林務部長より主催 協会会長、岡嶋秀典北海

くこととされており、ご

機に、様々な観点から技 参会の皆様には、これを 様々な取組を発表いただ カーボン、『海業』など

の2題が発表され

| 業再建に向けて―地盤隆 北海道水産林務部水産局 おける漁港整備と題して れた。続いて、北海道に 任による開催地報告が行 授による基調講演が行わ 海洋生物科学科櫻井泉教 題して東海大学生物学部 漁港漁場課高橋和多利主 続いて、能登半島の生 れた。 た能登半島地震被災漁港 水陸両用建設機械を用い に向けた動きについて② 港の被害状況と漁業再開 登半島地震で隆起した漁 強化のテーマでは、①能 の復旧の2題が発表され に数題の一般発表が行わ 災害リスクへの対応力

起による被災の技術的課一ーマでは、③落石漁港に ICT技術の活用のテ おけるICT技術

された。

の機能保全点検マ 事現場におけるI を活用した施工の 進―④荷さばき所 CT技術の活用推 取組について一工 する技術について びLCC低減に資 ニュアルの作成及 活発な質問が出された。

2日目は現場研修を2 | 育機構水産技術研究所

業の推進についてが発表 能と設計法の2題が発表 潜堤付き防波堤の消波機 場造成型漁港施設である 用いた藻場分類手法⑦藻 時期の異なる空撮画像を 造のテーマでは、⑥調査 促進のテーマでは、⑧海 漁港の多様な利活用の 藻場・干潟の保全、創 会 土屋詩織 ④ (一社) 漁港漁場新技 ろ建設㈱ 内海了輔 設協会会員 青木あすな ②(一社)全日本漁港建 ① (一財) 漁港漁場漁村 察、61名が参加した。 術研究会衛生管理研究部 局釧路開発建設部根室港 ③国土交通省北海道開発 ⑤長崎県水産部漁港漁場 総合研究所 後藤卓治 湾事務所 |発表者」|般発表 中野喜秀

された。

参加者からは各発表後に め11題の発表が行われ、 地報告、水産庁報告を含 基調講演、開催 | 課(兼水産加工流通課) ⑦ (国研) 水産研究・教 地土木研究所 田村友行 大津雄平 ⑥ (国研) 土木研究所寒

ースは古平漁港コースで コースで実施した。Aコ ⑧水産庁漁港漁場整備部 計画·海業政策課 成田

バス2台に分乗し、